

開和基督教會周報

清白石題

「臺大主難う御前部主迎へ三十人。」

處女之船（御前主一主）、顧九分

天國之室に我等の日嘗苦膳上絶え不

難れどおとは出来ぬ、時々は人を哉

うねをもとめざすあるが、越後七度

を七十倍へと、我等は帝のひとき失

つてはあらぬ。初夏の御神事持

在ねことをまつり申すのである。時々

我等は圓滿の御心とこの後

劉を北移めはほとく故人の上に立つ

時々社祭改數字は管人倍々さうけ

れんくわ。書に生テス御生監

は如何と考へへ。又我等の歩む

所、是道なりでほろい。餘者慶

子が煙火に於て喜便焉而報とし

子の仕業實往參果たる事ひと思ひ

最後に我等は天國之境の為に日

○講美金一八日夜教令にて備せよ。土

○婦人令例會一九日午後二時半

○日曜諸集會一十一日。

○日曜諸集會一十一日。土庫者四ヶ立

只禮拜青年部、校上教師司令の

下に「教吏の報酬」につきアドレット

議放があつた。一七八名共事、

以下を原文として記載せん。

二、青年集會一九日午後二時半

教令にて有村村長より令された因に

於り「基督教者の態度」につき極めて

現実的立向點を頭討した。因にヨウ

シF999「田中信文君司令、是又平

亦傳道報金一此夜七時半より

今後には、東野見。司令にて已

か在内に置け」と鹽子・白石牧師達

族、周辺北今場などに送致。基督教

立島足司令半平に送致。基督教傳

據信に付する証言も。總金額にて

十九名北十五名であつた。

○牧師會一十二日朝九時より事

務所にて幕令長司令にて開催。

諸職員集会部署等附りべ

て、議事に入所へた。

二平野松本兩牧師及ケ救病院より

來款金書を以て投寄する。

三不二子ト博士未所のアーヴィング

吉良(木)夜教令にて驅往向説にて

日本講演。四日、青年礼拜及

午後日語礼拜復原依頼する。

三不二子同日夕イ聖金一廿日夜と時

半うち二世合同夕講及上教師可

能。五人の虔女の如く準備を急ぐ

はあらぬ。裏裏切連するところある。

三備へとへてはありませぬか。

子の仕業實往參果たる事ひと思ひ

最後に我等は天國之境の為に日

○講美金一八日夜教令にて備せよ。土

○婦人令例會一九日午後二時半

○日曜諸集會一十一日。

○日曜諸集會一十一日。土庫者四ヶ立

只禮拜青年部、校上教師司令の

下に「教吏の報酬」につきアドレット

議放があつた。一七八名共事、

以下を原文として記載せん。

二、青年集會一九日午後二時半

教令にて有村村長より令された因に

於り「基督教者の態度」につき極めて

現実的立向點を頭討した。因にヨウ

シF999「田中信文君司令、是又平

亦傳道報金一此夜七時半より

今後には、東野見。司令にて已

か在内に置け」と鹽子・白石牧師達

族、周辺北今場などに送致。基督教

立島足司令半平に送致。基督教傳

據信に付する証言も。總金額にて

十九名北十五名であつた。

○牧師會一十二日朝九時より事

務所にて幕令長司令にて開催。

諸職員集会部署等附りべ

て、議事に入所へた。

二平野松本兩牧師及ケ救病院より

來款金書を以て投寄する。

三不二子ト博士未所のアーヴィング

吉良(木)夜教令にて驅往向説にて

日本講演。四日、青年礼拜及

午後日語礼拜復原依頼する。

三不二子同日夕イ聖金一廿日夜と時

半うち二世合同夕講及上教師可

能。五人の虔女の如く準備を急ぐ

はあらぬ。裏裏切連するところある。

三備へとへてはありませぬか。

子の仕業實往參果たる事ひと思ひ

最後に我等は天國之境の為に日

○講美金一八日夜教令にて備せよ。土

○婦人令例會一九日午後二時半

○日曜諸集會一十一日。

○日曜諸集會一十一日。土庫者四ヶ立

只禮拜青年部、校上教師司令の

下に「教吏の報酬」につきアドレット

議放があつた。一七八名共事、

以下を原文として記載せん。

二、青年集會一九日午後二時半

教令にて有村村長より令された因に

於り「基督教者の態度」につき極めて

現実的立向點を頭討した。因にヨウ

シF999「田中信文君司令、是又平

亦傳道報金一此夜七時半より

今後には、東野見。司令にて已

か在内に置け」と鹽子・白石牧師達

族、周辺北今場などに送致。基督教

立島足司令半平に送致。基督教傳

據信に付する証言も。總金額にて

十九名北十五名であつた。

○牧師會一十二日朝九時より事

務所にて幕令長司令にて開催。

諸職員集会部署等附りべ

て、議事に入所へた。

二平野松本兩牧師及ケ救病院より

來款金書を以て投寄する。

三不二子ト博士未所のアーヴィング

吉良(木)夜教令にて驅往向説にて

日本講演。四日、青年礼拜及

午後日語礼拜復原依頼する。

三不二子同日夕イ聖金一廿日夜と時

半うち二世合同夕講及上教師可

能。五人の虔女の如く準備を急ぐ

はあらぬ。裏裏切連するところある。

三備へとへてはありませぬか。

子の仕業實往參果たる事ひと思ひ

最後に我等は天國之境の為に日

○講美金一八日夜教令にて備せよ。土

○婦人令例會一九日午後二時半

○日曜諸集會一十一日。

○日曜諸集會一十一日。土庫者四ヶ立

只禮拜青年部、校上教師司令の

下に「教吏の報酬」につきアドレット

議放があつた。一七八名共事、

以下を原文として記載せん。

二、青年集會一九日午後二時半

教令にて有村村長より令された因に

於り「基督教者の態度」につき極めて

現実的立向點を頭討した。因にヨウ

シF999「田中信文君司令、是又平

亦傳道報金一此夜七時半より

今後には、東野見。司令にて已